

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0992
施設名	かつしか風の子保育園
施設所在地	東京都葛飾区立石8-18-7
法人名	社会福祉法人 厚生福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

春～秋に環境を設定する「色水遊び」に対して、子どもたちは毎年変わらず興味関心を持ち、夢中になって遊ぶ姿が見られる。保育者には「混色を楽しんでいる」と見えるが、子どもはこの遊びを通して何に心を動かしているのかを知ること、その興味関心をさらに広げて深めていきたい。

2. 活動スケジュール

6月～9月 色水遊び 色水をさまざまに楽しむ

絵本「カラーモンスター」色に自分の気持ちをのせる経験

9月～ 室内で楽しむ色にちなんだ遊び（遊びの広場）

12月 小さいクラス（色に親しむ遊び 小さなあそびの広場）

3月 5歳児 卒園制作

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・画材（絵の具、色鉛筆等） ・描く以外に色に親しみ工夫する機会～工作
- ・色水を変化させる（冷蔵庫、スライム、容器） ・室内活動用パーテーション
- ・暗い中でも色が見える経験（蛍光絵の具、ブラックライト）
- ・撮影、記録用スマホ、PC

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

毎年恒例の色水遊びから、同じ色でも自分のお気に入りの色加減を楽しむ姿に変化した。また、それをとっておくために凍らせたり、スライムにしたりした。その後「カラーモンスター」の絵本を保育室に設置し、大人気となる。色と気持ちをリンクさせ、自分の気持ちにフォーカスする姿が見られた。透明感や蛍光色にも興味を示し、蛍光絵の具で描いた絵で階段を飾る取り組みに発展。秋の行事で保護者とも一緒に楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・白い色水でカルピスを作る→濃淡に気づき今年は「ジュース屋さん」のイメージで色水遊びがスタートし、さまざまな活動(何度も繰り返す、試す、工夫する)に発展する。
- ・5歳児には保育者が3原色を意識して取り組む。3つの色からさまざまな色を生み出すことに夢中になった。
- ・カラーモンスターの絵本が大好きに。4歳児給食中に怒っている友達に対して「これ、食べなよ。緑はおだやか〜だよ」と野菜を勧める。周りの子どもたちが「おだやか〜」と言いながら食べ始めると怒っていた子どもの表情が緩んだ。
- ・カラーモンスターの飛び出す絵本をきっかけに、飛び出す仕組みに興味を持ち、いつもの教材を使って試行錯誤し完成させていた。

ドキュメンテーション (PDFデータ) にて

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・子どもが何かに気づいたり、心を動かしたことに保育者が気づき、すぐに声をかけずにしばらく見守ると、その先に「考える」「試してみる」「工夫する」「友だちと協力する」が始まる。その姿に保育者がどうなるかワクワクした気持ちで見守り続けると、活動がさらに深まる。見守り続ける理由は「もっとこうしたいから、こういうものが欲しい」「何度やってもうまくいかない。どうしたらいいの?」という気持ちになった時に、保育者が過程を理解していることで活動やワクワクした気持ちが途切れることなく進めることができ、充実した時間となると考える。